

「美」と「和」で「輪」ぶ 南丹文化ジョイントプログラム2009

1月30日、31日の2日間、南丹文化ジョイントプログラム2009を南丹市国際交流会館・南丹市立文化博物館で開催。子どもたちによる伝統芸能の発表、幼児から京都伝統工芸大学の学生までの美術工芸作品の展示や工芸体験など、南丹地域の伝統文化を“みて”“きいて”“ふれて”いただく機会となりました。

次世代へつなぐ南丹地域文化フォーラム

南丹市国際交流会館コスモホールにおいて、南丹地域で伝統芸能に携わる子どもたち3組が身に付けた技を披露しました。



京都府立園部高等学校・附属中学校吟詠剣詩舞部による詩吟・剣舞（写真①）
京丹波町立和知小学校の児童による和知人形浄瑠璃（写真②）
三輪山鉦の子どもたちによる亀岡祭曳山囃子（写真③）

南丹美術工芸教育展



およそ1,100点の作品が展示された会場で、子どもたちの作品に見入る来場者
平面作品の部（写真④）
立体作品の部（写真⑤）